様式第27号

管理運営評価シート（令和７年度）

施設名称	村上市養護老人ホームやまゆり荘	評価対象年度	令和　7　年度
指定管理者名	社会福祉法人　阿賀北福祉会	所管課	介護高齢　　課
指定期間	令和5年４月１日～令和10年３月31日（５年間）	評価者（課長）	土田　孝

１　令和７年度の実績

（1）事業実績

利用実績	令和７年度　当初入居者数25名、途中入所７名、途中退所５名、年度末入所者27名
サービス向上の取組	職員倫理、行動規範の周知徹底及び業務マニュアルの遵守に努める。ケース検討会を実施し、課題解決の他、利用者に関する専門的な情報を協議することにより、ニーズに沿ったサービスの提供に努める。施設全体で虐待防止・人権擁護に関する意識を高める。

（2）管理経費

（単位：千円）

区分		前々年度（R5年度）	前年度（R6年度）	当該年度（R7年度）	合計	備考
収入	指定管理料	110,114	111,558	114,346	336,018	基本協定額：　563,865　千円
	利用料金				0	
	事業収入	366	27	248	641	
	自主事業収入				0	
	その他	26	96	412	534	
	収入合計　①	110,506	111,681	115,006	337,193	
支出	人件費	56,618	56,163	62,169	174,950	
	福利厚生費	195	160	234	589	
	事務費	3,613	3,324	3,153	10,090	
	管理費	27,662	28,361	29,606	85,629	
	水道光熱費	8,214	7,582	7,527	23,323	
	修繕料	1,986	1,967	2,501	6,454	
	使用料・リース料	837	832	924	2,593	
	手数料・保険料	304	257	519	1,080	
	委託料	16,321	17,723	18,135	52,179	
	事業費	16,612	15,350	14,296	46,258	
	自主事業経費				0	
	その他	21	47	266	334	
	支出合計　②	104,721	103,405	109,724	317,850	
収支差額（①－②）		5,785	8,276	5,282	19,343	

2 共通評価項目

（記入者）自己評価…指定管理者　所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考（所管評価） （◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入）
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。（書類の保管、社員への周知等）	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	－	－	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎：協定等の内容を超える水準で業務を履行している　○：協定等の内容どおり業務を履行しており適正
△：協定等の内容に対し、一部不履行がある　×：協定等の内容に不履行があり改善の必要がある　－：該当なし

3　業務実施上の課題（指定管理者が記入）

（1）指定管理業務実施上の課題

①ニーズの多様化～認知症・精神疾患のある入所者への専門的な支援、ADL低下に伴う介護、日常生活における支援、入所者の状態に応じた食事提供や生きがいにつながる活動等、求められるニーズの多様化。②専門性の向上～多様化するニーズに対応できる職員の専門性の確保、支援の質の向上が求められる。③施設設備の老朽化～既存の設備等の更新・修繕等が必要。（給湯用ボイラー更新、スプリンクラー設備・自家発電機設備の更新、冷暖房設備の老朽化）④地域に貢献できる施設運営～新規入所者において専門性が問われるケースや病院からの退院先がない方の利用ケースなどが増加している。幅広いニーズに対応し、地域に貢献できる施設運営が求められる。

（2）課題解決に向けた取組

①入所者のニーズに応えるため、職員全体でアイデアを出し合い、協力して取り組める支援体制の充実と強化を図った。また、入所者の要望に合わせ、一人部屋対応やベッドの利用をすすめてきた。入所者を対象として満足度調査を行い、入所者の声を反映させた運営となるよう努めた。②研修計画を策定し外部研修やオンライン研修の充実を図り、支援の専門性の確保と質の向上に努めた。③令和7年度は修繕箇所が多数発生している。スプリンクラー配管からの水漏れや、夏場の冷房の故障があり、利用者の生活に直接影響がある部分での故障等が目立っている。基本的には単年度修繕費予算からの支出を行い、結果的には予算を超える修繕費用がかかる状況であった。④令和7年度3名の短期入所利用があり、延べ利用日数65日の利用実績があった。家族のレスパイトの為1名、退院後治療継続のため1名、単独生活困難のため1名の利用があった。新規入所者7名（他施設より2名、在宅より3名、医療施設より2名）退所者5名。令和8年4月1日現在において在籍者27名となっている。

（3）その他

①利用者からの主な意見や苦情、対応策

利用者満足度調査からは、おもだった意見や苦情等は見られず、概ね満足されているとのことであった。居室に関しても定員数減により、一人一部屋対応が可能な状況になってきている。認知症等の状況や他社との関係性を考慮して、随時に居室変更等で柔軟に対応していきたい。

②その他

障害分野において65歳以上になると、障害サービスより介護保険サービスを優先するようだが、あくまで要介護状態となったらということである。障害サービス利用者が65歳になっても要介護状態とならなければ、利用している現施設で生活を継続していけるようサービス給付を行ってもらいたい。養護老人ホームという特性上、希望したからといって入所可能な施設ではない。まして入所判定するのは措置市町村である。主に自立訓練施設からの入所申請について、要件等が必要であると思われる。また、すでに申請が出ている入所希望者については、申請後数年経過している方も多く、現状が把握出来ていない。入所を検討する場合は、もう一度入所判定委員会にて検討して頂きたいと思う。

4　全体的な評価

（1）指定管理者の評価

事業計画に則り概ね計画通り実施出来た。施設生活においては、感染症の罹患はあったが、感染対策の徹底により最小限の範囲でとどめることが出来た。定員数の減少が功を奏し、一人一部屋での対応が可能となり、プライベート空間も確保しつつ、集団生活をおくることが出来ている様子。施設行事では、利用者が楽しむことを念頭に、夏祭りや文化祭を開催した。また、毎月のレクリエーションにおいても、参加者が楽しめるメニューを考案して行い、好評をいただいた。また、やまゆりカフェとカラオケクラブを毎月実施し利用者が楽しめるよう対応した。利用者の状況としては欠員が続いているが認知症のある利用者、精神疾患のある利用者が増えている為、一人ひとりに対する支援の割合は増加している。また、精神疾患のある利用者が2月～3月にかけて3名の方が入院となっている。精神状態により、生活状況が一変し対応に苦慮する場面が多い。

（2）施設所管課の評価

職員全体で統一した支援を心がけ、本人の要望や意見をできる限り尊重した支援の在り方や業務内容について検討しながら業務にあたるなど、利用者の人格を尊重し、利用者の立場に立った支援や行事の実施に努めている。また、入所者は減少傾向にあるが、相部屋を解消しプライバシーの確保に努めるなどし常に利用者に配慮した支援がなされている。

（3）次年度の管理運営に対する指導事項等（施設所管課）

引き続き、老朽化した施設の異常箇所の早期発見に努め、入所者に配慮した良好な環境やサービスの提供に努めていただきたい。